

東京支部からの便り

昨年8月にコロナ禍以降初めて対面での理事会を開催。様々な環境変化があったことを踏まえ、これからの支部活動は何を目的とし、どのように運営することがその活性化につながるのか、忌憚ない意見を交わし熟議した。その結果、シニア世代に偏っていた参加者を全世代に広げ、世代を超えて交流し共助するという云わば同窓会の本質的な提供価値を実現すべく改革を行うことがあらためて確認された。

その第一歩として、本年1月に開催した新春経済交流会では、「世代を超えて創る、新しいビジネスの未来」というテーマで、1975年から2013年卒の方々（※1）によるパネルディスカッションを行い、1980年代、1990年代、2000年代、2010年代の参加者がそれぞれ20名のほぼ同数、それ以外の年代も入れ計約100名という従来のイベントでは見られなかった参加者構成となった。



新春経済交流会
依田前理事長ご挨拶



新春経済交流会パネルディスカッション

パネルディスカッション終了後に、本年3月に理事長を退く依田高典教授から入試改革やカリキュラム改革などこの3年間の取組みについてお話しいただいた。

（※1）

パネリスト..

柄澤 康喜氏

（1975年卒、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社取締役会長）

岡崎健氏

（1988年卒、株式会社ファーストリテイリング 取締役 グループ上席執行役員兼CFO）

宇野 雄哉氏

（2010年卒、経済産業省 経済産業政策局調査課 課長補佐）

辻中仁士氏

（2013年卒、株式会社ナウキャスト 代表取締役CEO）

モデレータ..

中森 真紀子氏

（1987年卒、中森公認会計士事務所 代表 / 伊藤忠商事株式会社 社外取締役）



支部総会 集合者写真

若い世代の参加者が増えた要因として、イベントのコンテンツの刷新とともに、メールで通知する募集方法に加え、SNS（FacebookとLine）での告知やプロモーションをしたことも功を奏した。現在ではSNSのフォロワー数は200を超えもはや支部活動にとって欠かせないメディアとなった。

5月の支部総会についても、DXを推進し、今年からハガキによる受付はやめ、原則としてオンラインによる申込のみとした。正直、従来多数ご参加いただいているシニア層が

激減しないかという不安もあったが、140名もの参加をいただき、杞憂に終わった。(当日現金での受付も継続！)

支部総会は、まずは冒頭の講演で、京都大学ご出身でノーベル化学賞も受賞された旭化成株式会社名誉フェローの吉野 彰先生に「リチウムイオン電池が拓く未来社会」という演題で、未来につながるイノベーションについて具体的な素晴らしいお話をいただいた。



吉野彰氏ご講演

支部総会が学歌とともに始まり、まずは柄澤康喜支部長がこれからの同窓会活動についての抱負が述べられた。続いて、今年の4月に経済学研究科長及び同窓会理事長に就任された若井克俊教授より今回参加され



柄澤康喜支部長ご挨拶



先生方ご紹介

た先生方(※2)のご紹介をいただいた後、現在経済学部で取り組んでいる改革についてご説明いただいた。続いて、常務理事の荒木からは第33期の収支決算の説明やその期間の活動に加え、本会の企画運営が18人の卒業生の有志によって行われていること等を報告した。



若井克俊理事長ご挨拶

(※2) 田中彰 経済学研究科副研究科長・教授(同窓会常務理事)、諸富徹 経済学研究科教授(同窓会常務理事、学内企画委員長)、坂出健 経済学研究科教授(学内企画委員会副委員長)、岩島史 経済学研究科講師(学内企画委員)

懇親会は、相京重信同窓会会長の乾杯のご発声で始まり、昨年に続き《同期を中心としたグループ》のテーブルに加え、今回は事前のアンケートに基づき《経済と金融政策》《イノベーションとスタートアップ》《企業経営と組織づくり》《中小企業経営と地域創生》《産学連携》《DE&I》《趣

味と文化的活動(ウェルビーイング)というテーマ別のテーブルで参加者間の活発な交流が行われた。最後に、来年の支部総会は、2025年5月10日(土)16:00~19:00に、KKRホテル東京 11階「瑞宝」で開催(学士会館が2029年まで改修により閉館)是非ご参集を！
常務理事 荒木 隆司(昭和56年卒)



相京重信会長 懇親会ご挨拶

京都大学経済学部同窓会東京支部
第33期(2023年度)東京支部収支決算書

収支決算書(2023年4月1日~2024年3月31日) (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
イベント収入	1,400,000	イベント経費	1,980,743
		事務費・会議費	454,100
支部活動援助金(本部)	500,000	振込手数料	6,457
支部活動援助金(会員)	496,051		
預金利息	74		
≪小計(第33期収入額)≫	2,396,125	≪小計(第33期支出額)≫	2,441,300
前年度繰越金	5,058,926	剰余金(次年度繰越金)	5,013,751
合計	7,455,051	合計	7,455,051

(注1) イベント収入は、①支部総会910,000円、②新春経済交流会490,000円の二件の合計。
(注2) イベント経費は、①支部総会1,473,968円、②新春経済交流会506,775円の二件の合計。
(注3) 単年度の総収支は、過去三期は30期60,416円、31期は113,909円、32期は▲80,932円であったが、33期は▲45,176円となった。

財産目録(2024年3月31日) (単位:円)

種類	預入先	金額
定期預金	りそな銀行日本橋支店	4,002,412
普通預金	りそな銀行日本橋支店	371,275
普通預金	三菱UFJ銀行日本橋中央支店	640,064
合計		5,013,751

京都大学経済学部同窓会
東京支部長 柄澤康喜殿

第33期支部会計監査報告

京都大学経済学部同窓会東京支部収支決算書(2023年4月1日より2024年3月31日)についての監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

京都大学経済学部同窓会東京支部

監事 谷口浩章
監事 河毛正志